

⑱ 震災講話



(活動時間の目安：1 時間～1.5 時間)

概要	東日本大震災の被害の状況や復興の様子の講義を聞いたり、グループで災害時について話し合ったりする活動です。			
ねらい	東日本大震災の被害体験や実情を知ることができます。また、防災・減災について理解を深めます。			
条件	対象	小学5年生～	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□資料 □プロジェクター	特になし		□筆記用具
引率者の役割	団体責任者	講話開始前に講師と打合せをし、当日の進行を行う。		
	グループ責任者	用紙の配付や感想発表などの進行を補助する。 (学校では担任が一般的)		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 資料とプロジェクター等の機材を準備します 感想用紙の準備をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所 40 日前までに指導依頼（活動日程表の提出）をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者に筆記用具を準備させ、講話を始められる態勢を整えます。 参加者は講話を聞いたり、グループで話し合ったりします。 グループ責任者は進行中に講師の指示で用紙の配付や感想発表などの補助をします。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率者と参加者で実施場所の清掃と原状復帰をします。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○講師は外部講師や交流の家職員が務めます。(料金は無料です。) ○講話の特性上、津波や地震の写真・映像等を使用する場合があります。写真等を見た時に精神的なストレスを感じる方もいるので、事前に受講される方への確認をしてください。 			